【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】平成22年5月20日(2010.5.20)

【公表番号】特表2009-532657(P2009-532657A)
【公表日】平成21年9月10日(2009.9.10)
【年通号数】公開・登録公報2009-036
【出願番号】特願2009-503638(P2009-503638)
【国際特許分類】
Ｆ２３Ｋ　3/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２３Ｋ　3/00　３０２

【手続補正書】
【提出日】平成22年3月24日(2010.3.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
燃料をホッパから処理容器に供給する供給機構であって、
ラムチューブと、
前記ラムチューブの中で引込み位置と戻り位置との間を移動可能なラムと、
前記ラムチューブから前記処理容器に受入れられた燃料を送り出すように構成された回転スクロールフィーダと、を有し、
前記ラムチューブは、前記ラムが引込み位置にあるときに燃料が前記ホッパから前記ラムチューブの中に供給可能であるように構成された第１の開口と、第２の開口と、前記第２の開口を閉鎖するように作動可能なバルブと、を有し、
前記供給機構は、前記ラムを引込み位置から戻り位置に向かって移動させるように作動可能であり、
前記ラムチューブ内の燃料を、閉じたバルブに向かって圧縮し、次いで、前記バルブを開いて、前記ラムを戻り位置まで移動させ続け、圧縮された燃料を前記ラムチューブの外に前記第２の開口を通して前記回転スクロールフィーダに向かって押し、
前記ラムは、それが引込み位置から戻り位置に移動するときに第１の開口を閉じるように構成される、供給機構。
【請求項２】
前記バルブは、スライド式ギロチンバルブである、請求項１に記載の供給機構。
【請求項３】
前記ラムチューブの第２の開口は、燃料を前記スクロールフィーダに入れる前に粉々にするのを助けるために、前記バルブと前記回転スクロールとの間に設けられた中間チャンバに通じている、請求項１又は２に記載の供給機構。
【請求項４】
更に、前記スクロールフィーダに連結された少なくとも１つの追加のラムチューブ及びそれに対応する追加のラムを有する、請求項１～３の何れか１項に記載の供給機構。
【請求項５】
前記供給機構の出口パイプは、水で冷却される、請求項１～４の何れか１項に記載の供給機構。